

6月号

第448号

いっしん

令和4年(2022年)

天地の
深き恵の
露うけて
真愛でつつ
業を恪しめ

甘本親教会
初代教会長
安武松太郎師神款

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市

加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895 / FAX 020-4665-5653

Mアドレス hittobe.konkaji@gmail.com (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPの写真はカラーで見れます》

立教163年／教祖様139年／教団独立122年／小倉教会布教137年／

甘本親教会布教118年／加治木教会布教71年



少年少女会「野外調理」 5月21日(土) 仙寿の里温泉にて

少年少女会

野外調理

この春の少年少女会の例会は、霧島山麓の「仙寿の里温泉」の森で「野外調理」が行われました。今回は、カレーライスとスペアリブのコーラ煮をしました。

天気予報では「今年の梅雨は早くきそうです」とのこと、前日までの雨にへもしかしたらお湿りか、とも思われましたが、朝になるとなんとか雨は上がりました。曇天で、暑くもなく寒くもなく、蛇も蚊も出ない、絶好の野外活動(少年少女会活動)日和となりました。

今は、どこの家庭もオール電化で、火をあつかうなんて、こんな時しかありません！こわいけど、けむたいけど、楽しさ満点のようでした。おいしさも満点でした！霧島山麓の森にはガマズミの花も咲いて、初夏の訪れを感じる一日でした。

天地のお恵みにお礼を申しながらの少年少女会例会となりました。

(写真は、8～9ページに)

加治木教会

天地金乃神御大祭

仕えられる

春爛漫の季節を迎え、天地の親神様のみ恵み・み働きが生き生きと躍動し、春の花々は気高く尊く生きよと語りかけような、五月四日(祝)、加治木教会では、天地金乃神御大祭が仕えられました。

天地の親神様の広大なお徳、計り知れないみ恵みに御礼を申し上げ「神と人あいよかけよで立ち行く」天地金乃神様の願いの実現に向けて祈りを込めさせていただきました。

ご教話は、志布志教会長 馬渡三郎先生で、今年の秋、十一月二十日(日)に布教九十五年祭を迎えられるにあたり、奉迎の「願い」として掲げられておられる内容についてお話しになりました。



祭員の先生方



婦人会玉串奉奠



信徒総代玉串奉奠



青年会玉串奉奠



少年少女会玉串奉奠

加治木教会

天地金乃神御大祭

《講話要旨》

講師・志布志教会長

馬渡 三郎 先生



講題 「父母の祈りの中で」
ちちはは

父母の命に続くわが命
ちちはは

我がものにして我がものならず

(四代金光様 御歌)

講題の「父母の命に続くわが命我がものにして我がものならず」というみ歌を通して、今一度頂き直して行かなければならないと思っております。今年志布志教会布教九十五年の

年柄で、教会の願いとして初代から続く「一心の信心」という内容をもとに、

「何事も当たり前ではない日々の生活に御礼と喜びを」

「油断のない信心の稽古を」

「声を掛け合い、励まし合って」

と三つの項目を掲げております。

◆何事も当たり前ではない

一番目の「何事も当たり前ではない日々の生活に御礼と喜びを」というのはコロナ禍が始まった頃、テレビやラジオから、アナウンサーの人が「マスクをせずつきに思いっきり空気が吸える生活などを当たり前と思ってきたそのことが当たり前でなかった」とよく繰り返し話していました。

今まで何と有り難い生活をしてきたかと「有り難い」という言葉が出ていました。この道では「有り難い」ということが大切にされています。アナウンサーの人が「有り難い」と言われるようになったのはコロナ禍があったからこそです。

そのため最近ではコロナ禍を通していろんな「有り難い」ことに気付か

せていただいていることに御礼を申しています。

それが「何事も当たり前ではない日々の生活に御礼と喜びを」ということです。

二番目の「油断のない信心の稽古を」ということは、何事にもお礼申すとはいつても、習慣みたいにして言っているところがありますが、心から御礼を申し上げて行こうということでもあります。

◆娘の体験、神様との出遇い

私方の娘のことになりますが、子供が三人おります。

一番下の子が生まれる時に、母親である私方の娘が、アナフィラキシーが起きました。どうしてアナフィラキシーが起こったかと言いますと、子宮を広げる時にゴム製の施術の道具を使いまして、そのゴムにアレルギーがあったのです。

産婦人科では大慌てとなり、その先生は鹿屋(大隅地方)では有名な方で、最終処置をして鹿屋市の「健康保険センター」という元の県立病院に運ばれ、一週間後に無事出産のお

かけを頂きました。

出産後、その先生が娘に言われた言葉が「あなたは本来ならば母親か赤ちゃんのどちらかが命を失わねばならない状況であったが、幸運にも母子ともに命を授かりました」とのことです。

そうして娘が私に言った言葉が「お産は前に二人させてもらい、当たり前とおってあったけど、当たり前ではないということを神様が見せてくださった」と言いました。

そのような気持ちで「神様が」と娘の口から出た時、驚きました。

「女は神に近い」というみ教えありますが三回目のそのお産を通して、改めて神様に出遇わせてもらったんだろうなと思いました。

そういう事柄を通して、天地の親神様が「命の尊さ」というものを「信奉者家庭に信心を」と、信心の向上と継承を教会長にならせていただいたて四十五年願ってまいりました中で、信心が伝わってきたのですが、私が信心を伝えようとしてできたことではありません。

その事柄を通して、天地の親神様

が命の尊さ偉大さを分かせてくださったと思います。

◆「絶対に決めたらいけない」と

次に「油断のない信心の稽古を」ということですが、これは信者さんから出てきた言葉です。

熱心に信心を進められて来たご夫婦の息子さんのことですが、奥さんのお腹に赤ちゃんを授けられ、今はカメラではっきりとわかりますが、診察してみると「口蓋裂」ということがわかりました。

その時、その息子さんが病院から直接電話をしてきて「先生油断をしました」と言ってきました。「お腹の中で口蓋裂という症状が出ているそうです」と言いましたが、私は「無事出産のことを考え、母子共に健康のおかげを頂かせてもらうことができるように改めて願わせてもらわない」と言いました。

また、その息子の両親はいつも、御本部参拝時には子供たちを学校を休ませてお参りするほどに熱心に信心を進めて来た方だったのです。そして、その息子さん夫婦も家屋敷

をちゃんと建てて、おかけを頂いてきたのですが、その恵まれていることを当然と置いていたようなことだったのです。「口蓋裂」というのは脳にも障害が伴うことがあります。

その時、本人に対し「あなたは信心の油断をしたと言ったな、今からでもいいから何が油断かということをもう一回改めて頂き直し、神様にお繰り合わせをお願いさせていただこうじゃないか、どういいうお繰り合わせを頂けるかわからないから、自分でアーだめだと絶対に決めたらいけないよ」と話をさせていただきました。

本人が教会に参って来ました時、少し厳しくみ教えを伝え、私自身の体験のことも話させていただきました。現在は何の障害も出ず元気におかげ頂いております。

◆結婚十年目の家内の体験を

私自身も家内と結婚して十年目に家内自身の意識が朦朧として行く病気が出ました。CTやMRIで調べても分かりません。鹿児島の専門の病院に行かせてもらい、東京の慈恵

医科大学病院から来られた先生に診てもらっていたのですが、その先生が東京に帰られることとなり「後のことは曾於市にある病院に私の同期がいますので、そちらで今後の事は相談してください」と言われました。



馬渡三郎先生

その時、家内は「私はもうこれ以上病院にはお世話になりません。神様に一心におすがりして、おかげを頂いて行きたいと思えます。」と云って、紹介状も貰っていたのですが、それ以来病院には行っておりません。以来三十数年、病気も出ず、今日おかげを頂いております。

そういう内容をこれからの信心の向上と継承祈願の意味で息子さんに話させてもらいました。

その後、教会御用の上にお役に立

つ信心が進んでおります。

◆「一心の信心」の三つの中身

その「一心の信心」というのは、志布志教会の初代の時代から願ひ続けて来たことなのです。

その「一心の信心」とは、まず一つ目は天地金乃神様に「一筋にすがるといふことです。天地金乃神に一筋に取りすがるといふのが一心であるといふことです。

二番目は「心に迷いを持たない」といふことです。教祖様は「うろたえ信心をせぬがよろしい。また、早くおかげを受けたいと思うてうろたえるのは、近道をしようと思うて知らぬみちをうろたえるのと同じことである。此方には大道を行けというようなものである。一心になりて信心しなさい。」とみ教えになってあります。

三番目は「一心不乱」「一生懸命」といふ意味です。命懸けの真剣さをもつて一つのこと打ち込んで行くといふことです。み教えとしては「思う念力岩でもとおすというが、氏が一心を出して願えば、どんなことでもかなえてくださるぞよう。」と教祖様のこ

理解があります。

◆父母の信心の姿勢が大切

先ほどの「油断をしました」と言ってきた若者は「油断のない信心の稽古」から一心になり、御礼・お詫び・お願いということを深めて、有り難いと思える信心生活がどんどん広がって行きました。

父母の信心の姿、いわば父母の背中を見習っていると、信心は伝わると思えます。お父さんお母さんの家庭の中の熱心で細やかな信心生活が伝わって行ったのだと思えます。そういうことで、今はその家の子供達、兄弟三人をはじめ親族にも信心が広がっています。

ただ、神様に一回お願いしておけばおすがりしておけばよいとか、お任せしておけば間違いないということになると、それが油断となります。

繰り返し繰り返し忘れないように四六時中御礼を申し上げ御礼を申し上げして、神様のおかげでと祈ることを心に留め置いて行くことが大切なのです。

少年少女全国大会に向け(7月末まで)

まごころ運動

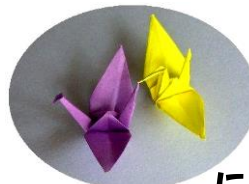
に取り組みましょう。

平和の折りづる

※古切手・古カード

えんぴつ(新)

を集めます。



▼換金後 海外の悪まれない子どもたちへ送られます。

使用済み切手収集についてのお願い

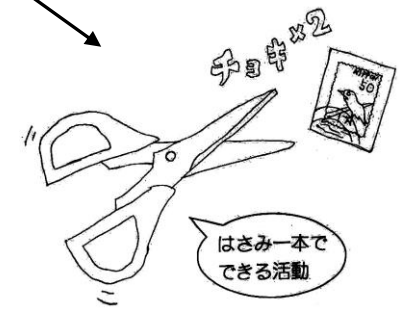
※お願い

※切手ははがさないで、以下の要領で切り取ってください。

※切手の周囲を5mm程度あけて切り取ってください。

※枚数を明記してお届けください。

※外国切手や台紙からはがした切手がある場合は別にしてお届けください。



使用済み切手の収集は少年少女全国大会「まごころ運動」の取り組みのひとつです。

ご霊神様のおまじない

六月

- 平地正巳 之霊神 (1日) 昭和20年
 - 前田 豊 之霊神 (6日) 昭和20年
 - 星原雅志 之霊神 (11日) 昭和56年
 - 最勝寺ヒサ之霊神 (11日) 平成11年
 - 汰木セツエ之霊神 (11日) 平成22年
 - 大重為光 之霊神 (20日) 平成18年
 - 三反クニ子之霊神 (24日) 昭和21年
 - 平地フチエ之霊神 (25日) 昭和18年
 - 安武シケ清和大刀自之霊神 (26日) 昭和32年
 - 前田賢二 之霊神 (27日) 平成3年
 - 金竹フミ之霊神 (27日) 平成25年
 - 本中野米子 之霊神 (30日) 昭和62年
- 立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げましょう。教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。

感 詠 (教会長)

扇風機付ける日ややに増えゆきぬ
 梅雨入り前の朝の広前
 風かおる季節訪れ夏花の
 芽吹き育ちぬ恵み尊し
 人吉に道開かれて百十年
 さらにここから弥栄祈る
 球磨川のほとりの緑萌え立ちて
 記念(かたみ)の祭り称えておりぬ
 我が身にはろくに信心できぬのに
 身に余りたること多くあり

※少年少女会員はチャレンジカードに取り組んでいきますので、大人は取り組み表にチャレンジ!

日	新の日参りと教会のご用		水も使わせ、頂く時にお礼	使、排尿にお礼	健康も頂いてお礼
	△	○			
1	○	○	○	○	○
2	○	○	○	○	○
3	○	○	○	○	○
4	○	○	○	○	○
5	○	○	○	○	○
6	○	○	○	○	○
7	○	○	○	○	○
8	○	○	○	○	○
9	○	○	○	○	○
10	○	○	○	○	○
11	○	○	○	○	○
12	○	○	○	○	○

少年少女会 「野外調理」

やがいちょうり

5月21日(土)

ごがつにじゅういちにちどう



もえろ、もえろ!



おみずをくんで、おこめをしこみます。



もえろ、もえろ!

仙寿の里温泉

(瀬尾さんご夫婦経営)

の森で、楽しい調理体験をしました。



たのしげどけむたくて、めがしみるね!

ひのつけはじめは、みんなきょうみしんしん



はんごうでに、おこめをしこみました。



おいしくなれ、おいしくなれ、



できた！
すぺアリブのコーラに

これでほんとに、なにかできるのかな…？



← ことしは、はんごうごはん、だいせいこうでした！



カレーを
おいしく
よそって
あげますね！



みんなであおいで ひをもやし、つくったごはん、すぺありぶ！ うめっ！



だるまさんがころんだ・・・
うごいてない？



おんせんのじょうないを
いっしゅうさんぽ・・・

六月十日(金)午前十時半より
加治木教会 月例祭に併せて

布教七十一年記念祭 奉仕

※祭典後、教話。

六月三十日(木) 十時半より

上半期感謝祭 奉仕

※感謝祭お届け用紙、ご記入の上
御結界へお届け下さい。

七月十七日(日) 午前十一時より

甘木親教会

祈願祭 奉仕

七月二十四日(日) 午前十一時より

加治木教会

祈願祭 奉仕

※祭典後、教話。

教会行事

6月

- 1 (水) ●報徳月例祭 10時半
- 3 (金) 親教会参拝日(参拝未定)
- 9 (木) 清掃御用 10時
- 10 (金) ●月例祭 生神金光 大神様 10時半
- 12 (日) 併せて 布教記念祭
- 12 (日) 御本部教団独立記念祭 選擇 10時
- 14 (火) 15 (水) 教師研修会 (十四日、教区 十五日、連合会)
- 21 (火) 清掃御用 10時
- 22 (水) ●月例祭・共励会 13時半
- 29 (水) 清掃御用 10時
- 30 (木) 上半期感謝祭 10時半

7月

- 1 (金) ●報徳月例祭 10時半
- 2 (土) ◆光風館予約日
- 3 (日) 多良木教会祈願祭 11時
- 7 (木) 清掃御用 10時
- 8 (金) ●月例祭 10時半
- 10 (日) 東郷教会 津上繁子媛五年祭
- 13 (水) 教師家庭婦人会 (鹿児島 教会にて)
- 17 (日) ●甘木親教会 祈願祭
- 21 (木) 清掃御用 10時
- 22 (金) ●月例祭・共励会 13時半
- 23 (土) 清掃御用 10時半
- 24 (日) 加治木教会祈願祭 11時
- 31 (日) 清掃御用 10時

「改まりの願い」(加治木教会)
自己中心の信心から
親神様の御立場に立った信心に、
親神様を使う信心から
親神様にお喜びいただき
ご安心いただく信心に、
おかげを信じる信心から
親神様・ご神慮を信じる信心に、
改まらせていただくこう。

